

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

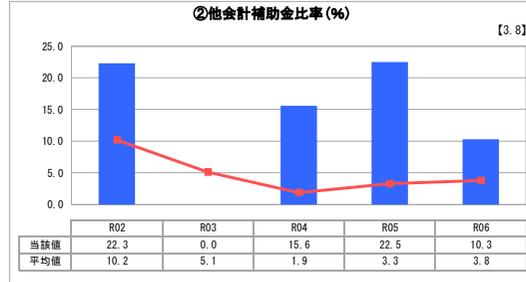
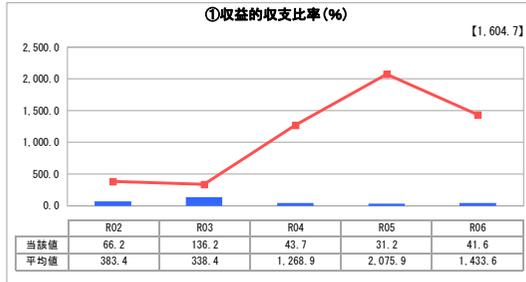
千葉県袖ヶ浦市 長浦駅臨海駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	32	

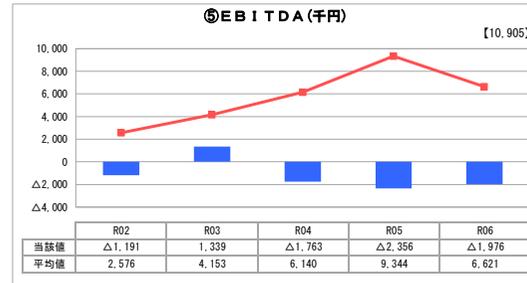
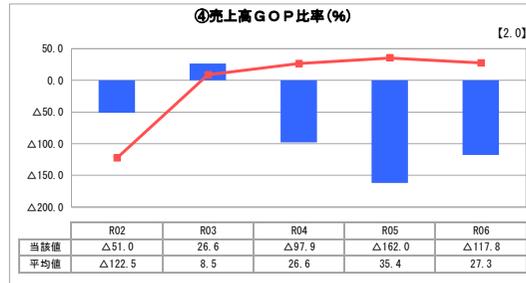
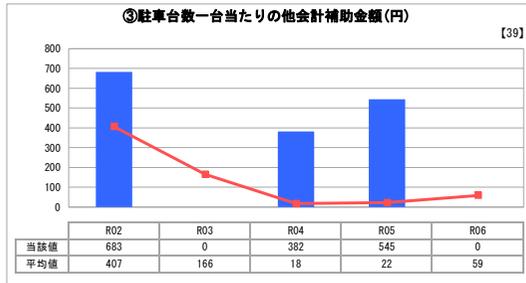
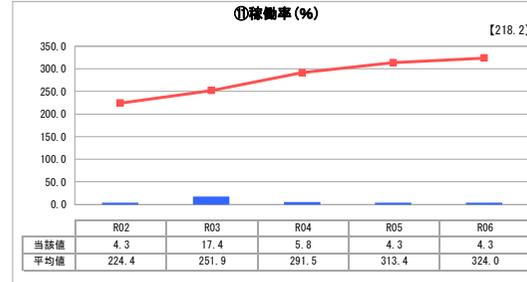
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	2,263
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
69	500	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

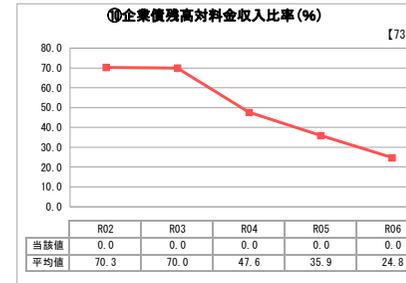


⑦敷地の地価(千円)

133,517

⑧設備投資見込額(千円)

0



## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 収益的収支比率は赤字であり、売上高GOP比率、EBITDAにおいても低い水準であることから、稼働率の低さが要因であると考えられる。このことから稼働率の底上げのための対策を検討する必要がある。また、当該用地は県より行政財産の貸し付けを受けていることや自動ゲート等の維持管理費のほうが総収益より高くなっているため、繰入金が発生している。

**2. 資産等の状況について**  
 当該施設においては入退場を自動ゲートによる無人管理で行っており、人件費等は要していないが、収支状況が赤字に転じたことから設備投資見込額については、必要最小限の修繕を行っていくこととしたい。

**3. 利用の状況について**  
 周辺企業の大口利用が見込まれるものの、稼働率が低く、駐車場としての需要が小さいため当該施設を駐車場として使用することが適当かどうか検討する必要がある。当該施設用地は県より行政財産の貸し付けを受けている土地であり、稼働率を助成し、駐車場規模を縮小することも検討する必要がある。

**全体総括**  
 稼働率が低い水準であることが収益的収支比率及び売上高GOP比率の数値の低さの要因となっている。営業費用の抑制と併せて対策を検討していく必要がある。